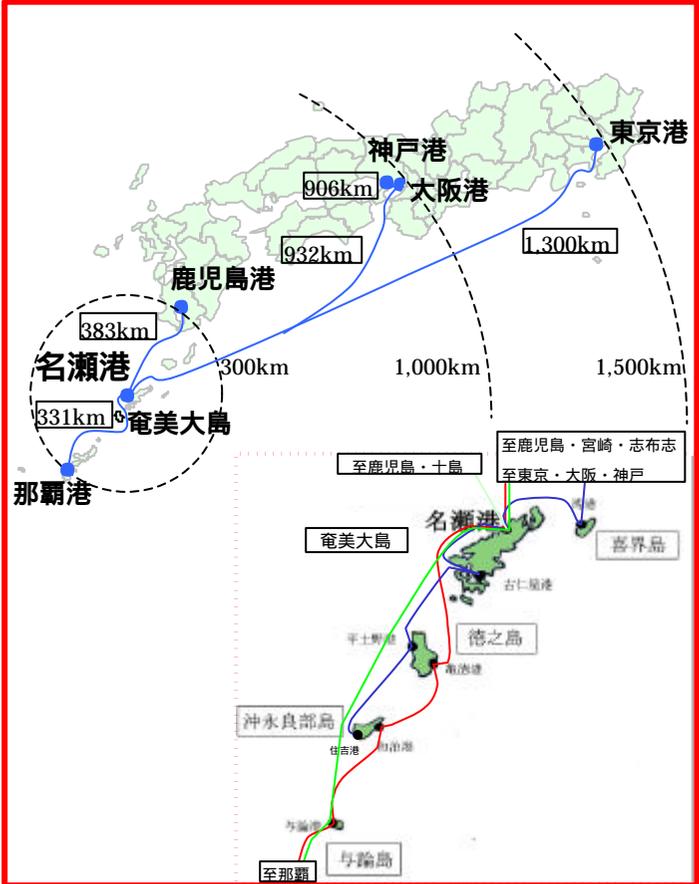


名瀬港港湾計画改訂

名瀬港の役割

- ・奄美大島 7万島民の生活を支える拠点港
- ・奄美観光の海の玄関口
- ・名瀬の都市展開空間

位置図



主要施策の展開

改訂のポイント

島民の安心で豊かな生活を支える生活密着型港湾としての機能向上

流通拠点及び防災機能の向上

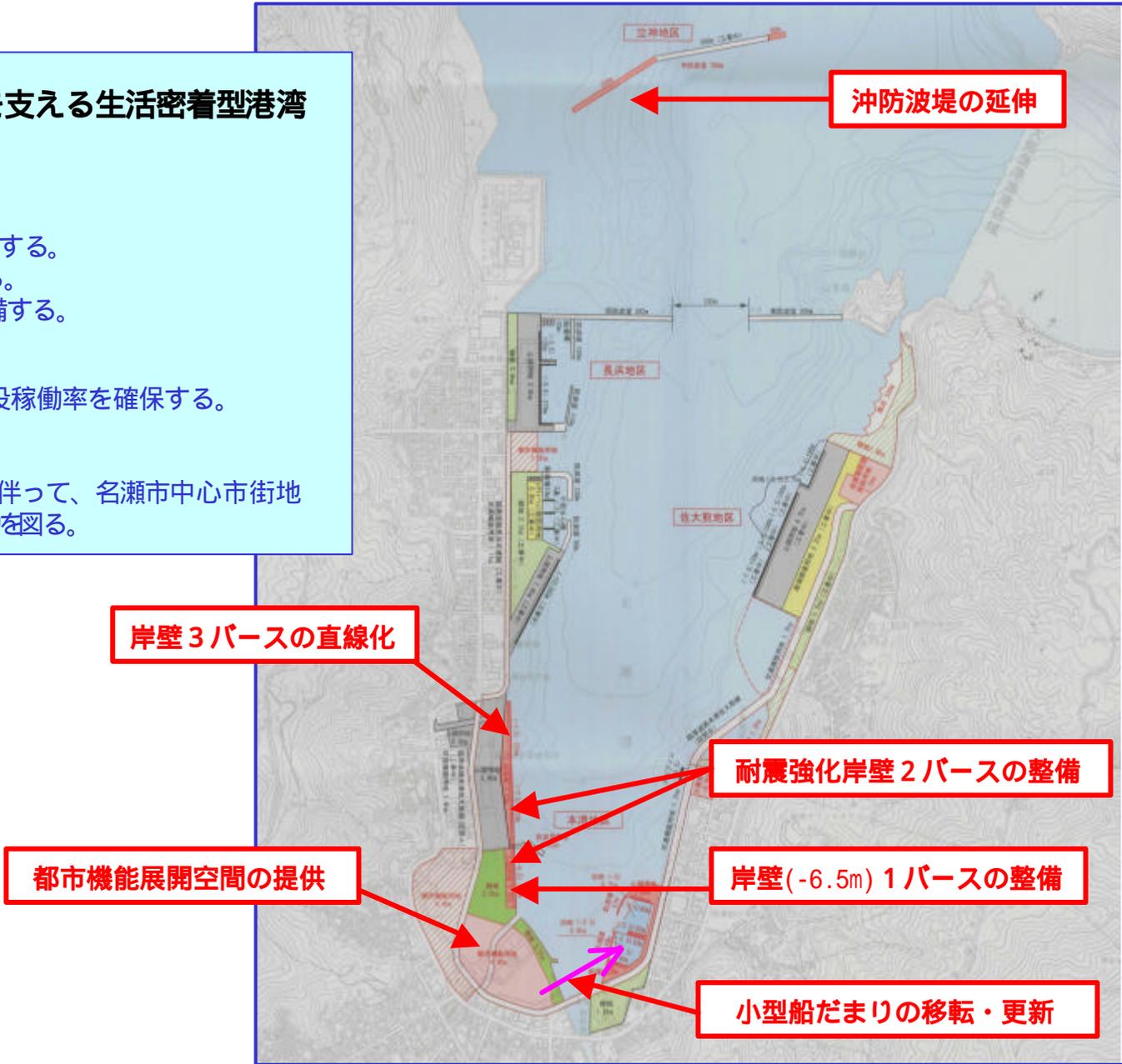
- 岸壁 (-6.5m) 1バースを追加する。
- 岸壁 3バースの直線化を図る。
- 耐震強化岸壁 2バースを整備する。

海上輸送の安全性の確保

- 沖防波堤の延伸を行い、荷役稼働率を確保する。

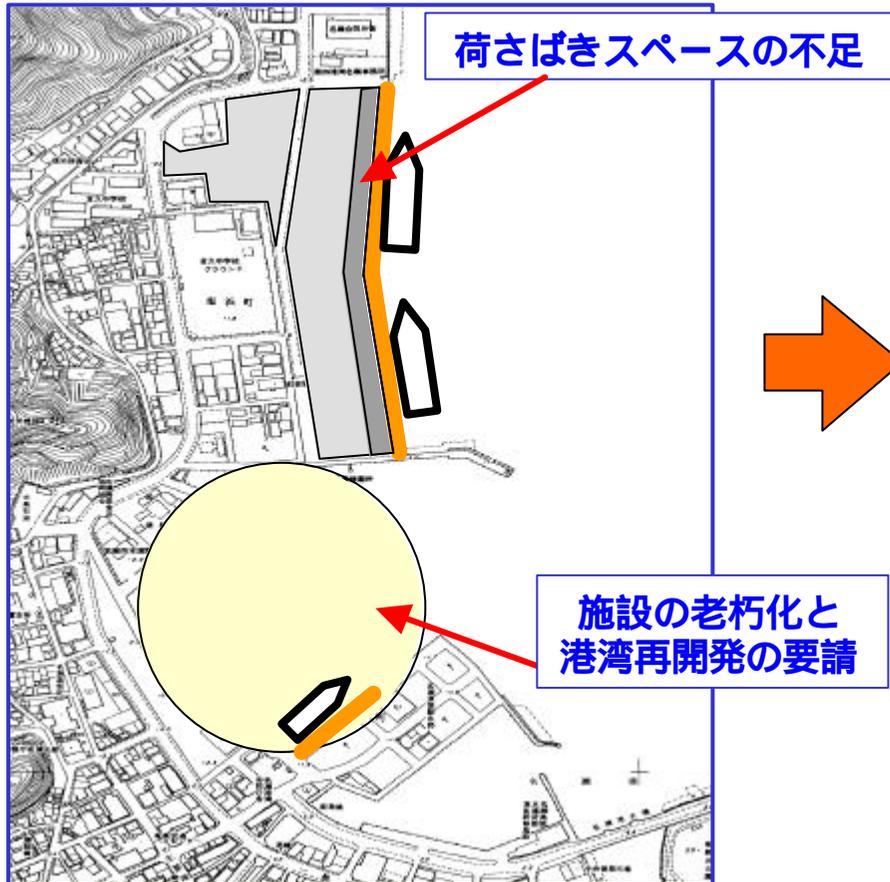
都市機能展開空間の提供

- 小型船だまりの移転・更新に伴って、名瀬市中心市街地と連携した、みなとまちづくりを図る。

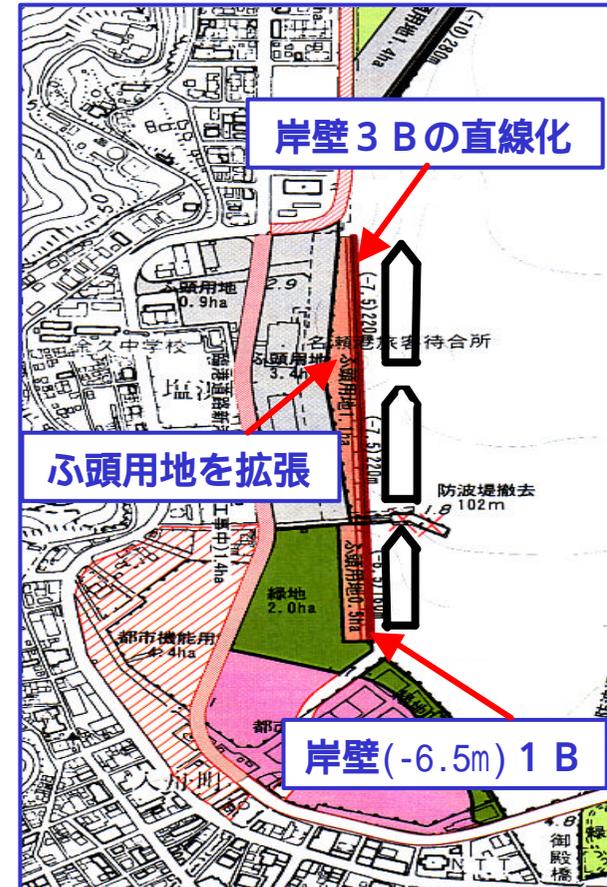


流通拠点及び防災機能の向上

(現状)



(計画)

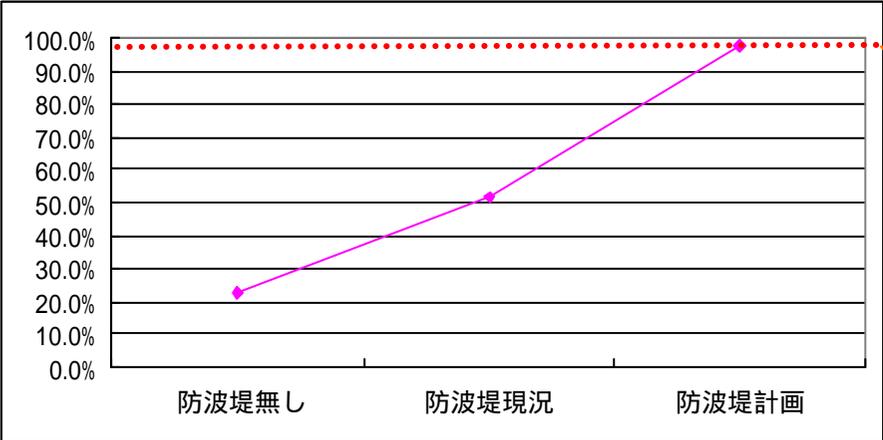
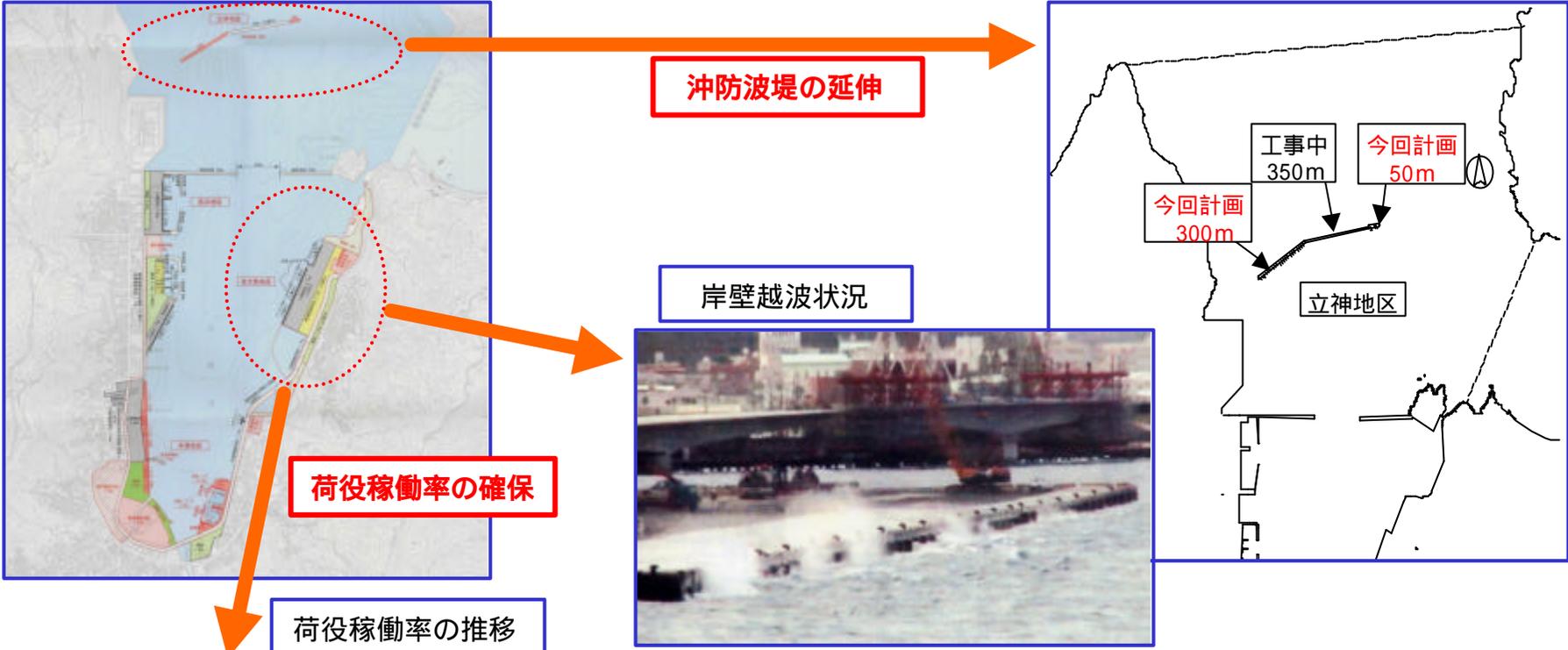


港湾の再開発に伴い、埋立地前面に岸壁(-6.5m) 1バースを整備する。

既存岸壁の更新に伴い、岸壁3バースを直線化し、ふ頭用地を拡張する。

このうち2バース(-6.5m、-7.5m)を大規模地震発生時の緊急物資輸送に備えるため、耐震強化岸壁として整備する。

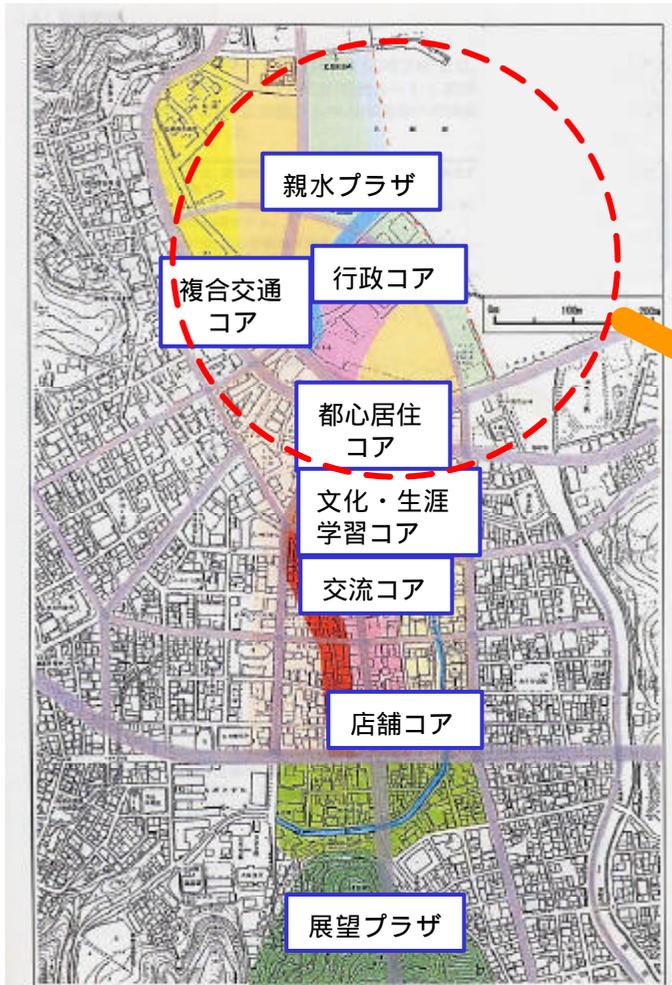
海上輸送の安全性の確保



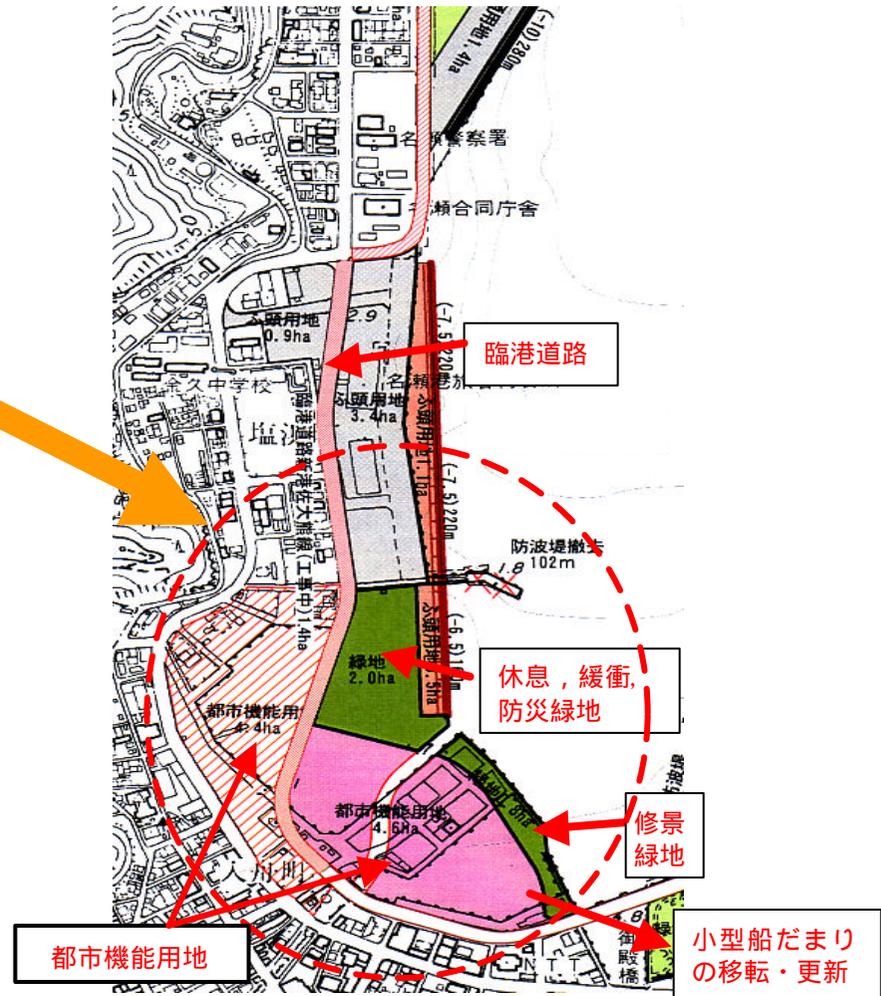
沖防波堤を延伸することにより、荷役稼働率 97.5% を確保し、海上輸送の安全性を高める。

都市機能展開空間の提供

名瀬市まちづくり総合支援事業調査(H14.3)



計画



小型船だまりの移転・更新に伴って、名瀬市中心市街地と連携した、みなとまちづくりに対応し、奄美群島の玄関口にふさわしい賑わい空間の整備を行う。